

### 第3回 VMAT 治療計画実習講習会 参加報告書

神戸低侵襲がん医療センター 放射線部 栢谷隆史

私は、平成28年10月29-30日に開催された第3回VMAT治療計画実習講習会に参加いたしました。当院は、医学物理士として採用された専従のスタッフがVMATの治療計画を行って臨床使用していますが、私自身は現在、放射線技師として勤務しておりVMATの治療計画を立案した経験がなく、参加する前は非常に不安でした。

まず初日、講習会の会場に到着してモニター画面の数にびっくりし、そしてその設備の充実さに嬉しくなりました。参加者一人一人に大きめのモニター画面が二つ用意されており、一つは講師の方々の説明した内容が映し出される画面、もう一つは、実際に参加者が使用する治療計画装置 Eclipse を操作する画面がありました。本講習会の内容が自分に役立つ内容なのか、なにより実習についていけるのか不安のなか始まりました。しかし、本講習会のプログラムは、治療計画装置の簡単な使用方法から始まり、十分な実習時間と講師の方々の分かり易い説明もあり不安は比較的早い段階でなくなりました。

実際の計画実習の内容は、TG-119 をもとにファントムへの治療計画の立案から行いました。そこで、基本的な ROI の作成方法やテクニック等を説明していただき、その後の臨床画像を使用した前立腺の治療計画までは比較的スムーズに立案することができ、少しほっとしました。ところが、次に用意されていた頭頸部のプランを始めたら、やはりやはり、難しかったです。ただ、私自身は、難しく上手くできないことが多かった半面、その分たくさんのかんことを質問することができ、そして、最適なプラン立案のための考え方やコツを聞くことができ良かったと思っています。初日の実習が終わった後は、情報交換会があり、多くの方と色々な話をすることができました。どんな会だったのか具体的な内容を書くことは難しいですが、アットホームな感じで、とにかく参加して良かったです。そして二日目も、引き続き計画実習を行いました。私は、前日非常に苦労した頭頸部に再度挑み、講師の方々の助言もあって初日より満足いく計画を立案することができました。本講習会の講師の方々は、常に参加者が困っていないか気を配って下さり、さらにどんな質問に対しても分かり易く丁寧に教えてくださり大変助かりました。

本講習会は講義中心ではなく実際に様々なプランを自分の手で悩みながら、講師の方々の助言を受けながら徐々に難易度を上げて経験を積むことができる講習会だと感じました。最後になりましたが、本講習会を企画していただきました医学物理士会の関係者の皆様に感謝いたします。